

[標準様式例 7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	R 5 利根川流域別下水道整備総合計画基本方針調査検討業務	
業 務 概 要	本業務は、平成18年を基準年に策定されている「利根川流域別下水道整備総合計画に関する基本方針」を、同計画策定後の社会情勢の変化等を勘案し見直すもので、利根川流域の各環境基準を達成するために、流域の各県（埼玉県、千葉県等）への目標汚濁負荷量の配分案を検討するための汚濁解析等の検討を行うものである。	
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 廣瀬 昌由 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1	
契 約 年 月 日	令和5年6月1日	
契 約 業 者 名	日本工営（株） 東京支店	
契 約 業 者 の 住 所	東京都千代田区麴町五丁目4番地	
契 約 金 額	18,964,000 円（税込み）	
予 定 価 格	18,964,000 円（税込み）	
随意契約によることとした理由	<p>本業務は、平成18年を基準年に策定されている「利根川流域別下水道整備総合計画に関する基本方針」を、同計画策定後の社会情勢の変化等を勘案し見直すもので、利根川流域の各環境基準を達成するために、流域の各県（埼玉県、千葉県等）への目標汚濁負荷量の配分案を検討するための汚濁解析等の検討を行うものである。</p> <p>本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、本業務の実施方針、利根川汚濁解析モデル構築における再現性を向上するための検討手法について技術提案を求め、簡易公募型に準じたプロポーザル方式（拡大型）により選定を行った。</p> <p>日本工営株式会社は、技術提案書をふまえ当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。</p>	
業 務 場 所	関東地方整備局管内	
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務	
履 行 期 間 （ 自 ）	令和5年6月2日	
履 行 期 間 （ 至 ）	令和6年2月28日	
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号	
備考	公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。	